

団体データ

株式会社アクトプラン(中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会 事務局)

- 設立 2013年4月
- メンバー 7名/協議会 約260名
- 拠点 中泊町
- 活動エリア 中泊町
- 住所 〒037-0309 中泊町八幡日向334
- TEL 0173-57-5054
- MAIL sanchoku-pure@bz04.plala.or.jp



facebook



小泊での移動販売。毎回たくさんの人でにぎわう。



移動販売には野菜以外に卵や魚、漬物なども持っています。



移動販売に使っている社用車。

連携先機関

- 中泊町役場
- 中泊町集落支援員
- 中泊町の若手地域団体など

団体のあゆみ

- 2013 ● 中泊町特産物直売所ピュア 指定管理者として運営開始
- 2016 ● 農産物の集荷開始
- 2018 ● 受注宅配サービス「ピュア宅急便」開始
- 移動販売開始
- 2020 ● 朝市イベント開始

ここがPOINT!

農産物の集荷が今後の直売所の鍵

どの直売所でも直面する課題が、農産物の出荷者の高齢化です。出荷できる農家さんが減った時、困るのは直売所。だからこそ直売所ピュアでは「取りに行くよ!」といち早く集荷に乗り出しました。自社で準備した集荷用の車を使い、直売所の従業員が11時頃に集荷して回り、午後には店頭と並べることで、午前中に売れた野菜の補充になります。集荷の手数料は農家さんからいただきますが、それを差し引いても農家さんの利益は生まれ、直売所としても利益があるため、双方にメリットがある仕組みです。



スタッフ、協議会みんなで地域を盛り上げます!



直売所ピュアの惣菜やお弁当を求めて昼ときは混み合う。

中泊町



農家さんも地域もハッピーな直売所主導の買い物支援

株式会社アクトプラン・中泊町特産物直売所ピュア/店長 前田 晴香さん

直売所で販売する野菜の集荷を兼ねて、高齢者などの買い物弱者支援として宅配サービスや移動販売を継続的に行っている。野菜の集荷や宅配サービスは高齢者家庭を訪問することで見守りにもつながり、移動販売は週に一度の高齢者の集いの場として機能している。



直売所を中心に、横のつながりをより広げたい!

農産物の集荷から始まった、高齢者の買い物支援
株式会社アクトプランは、中泊町特産物直売所ピュアの指定管理者として2013年から運営しています。直売所ピュア店長の前田さんは、従業員とともに自社や町の資源を活用して中泊町の買い物支援の仕組みづくりをしています。「直売所ピュアの運営を始めた当初、直売所への出荷者で構成される協議会を作りしました。現在は260名が協議会に所属していて、店舗づくりに協力してもらっています。直売所なので、野菜を出荷する農家さんは午前中のうちに

お店に野菜を持ってくるんです。でもあるとき、畑にはたくさん野菜はあるけど、免許返納したり地域連絡拠点バス(コミュニティバス)やバイク等で載せられる量に限界があるので、少量の野菜しか出荷できないという高齢の農家さんが3、4人ほど出てきました。売り物が無いと直売所としても困るので、じゃあ取りに行くよ!と始めたのが、農産物の集荷です。自社で購入した車で農家さんを回り、出荷用の野菜をお預かりし始めました」。

移動販売が地域住民のライフラインに

注文いただいた商品をご家庭まで届ける受注宅配サービス「ピュア宅急便」は、FAXや電話で注文を受けた商品を1回200円の手数料をいただいで宅配します。野菜や惣菜などの注文が多く、口コミで利用者が広がっています。また、「自分で選んで買いたい」



直売所ピュア店内。豊富な地産品が並ぶ。

というニーズに応じて始まったのが移動販売。野菜など食品が入ったコンテナを40個ほど車に積み込み、週に一度公民館など町内の3〜4箇所を回ります。「毎回従業員2名で巡るので、地域の集落支援員やお買い物に来て下さった方がコンテナの積み下ろし作業などを手伝ってくれるので助かっています。1箇所につき30〜40分程度滞在しますが、毎回30〜50人程度のお客様が待っていてくれるんです。毎週その場に集まる楽しさもあるみたい」と前田さん。移動販売では中泊町産の野菜や生ものがよく売れるそうで、移動販売での売上は上々。収益性も保たれています。



野菜は地元の農家さんが午前中に出荷。

づくりを兼ねた「朝市」を主催。協議会に所属してはなくても出店できる朝市で新たな顧客層の開拓にも取り組みつつ、町の保健部門と連携しながら、健康相談ブースや朝市終わりのヨガなどで地域住民の健康づくり促進もしています。

買い物支援が「見守り」と「集いの場」の役割を果たす

これまで移動販売などの買い物支援を続けてきたことで、継続する必要性を強く感じているという前田さん。「移動販売の利用者からは「今さらなくなる」と言われています。車で販売場所へ向かうと町民のみなさんが待つてくれていて、それを見るとやるる訳にはいかならないと思